

■ 最後の超俗文人

江幡 澹園

えばた たんえん

出身地 大館市

1842年（天保13年）～1909年（明治42年）

漢詩人、歌人として著名。寧静吟社ねいせいぎんしゃを設立。新聞人としても活躍。小説主体の『羽陰小誌』ういんしょうし、児童向けの『二葉新誌』ふたばしんし『ころころ雑誌』ざっし等の雑誌出版で地方文化の向上こうげんに貢献した。



年譜

- 1842年 おおだて 大館市に生まれる。本名・運蔵うんぞうのち通静つうせい。
- 1876年 かじ 遐迹新聞に入る。
- 1878年 ういんしょうし 秋田遐迹新聞の編集長。『羽陰小誌』発行届出。とどけで
- 1879年 『羽陰小誌』8号を出版。
- 1880年 『秋田歌集』を出版。
- 1883年 にちにち 秋田日々新聞雑報主任。
- 1890年 こうしんよじ 『壺簪余事』を出版。
- 1897年 ねいせいぎんしゃ 寧静吟社を設立。詩作にふける。
- 1909年 ほつ さい 秋田市で没。68歳。